◇MUZ-148087-0000-20260910◇

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2031年８月８日まで（2011年12月16日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	インド債券オープン　マザーファンド受益証券
	マザーファンド	インドの公社債*、および国際機関債 ＊社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限りません。）が発行する社債を含みます。
運用方法	インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象とし、債券からの安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を目指します。	
主な組入制限	ベビーファンド	・マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。 ・社債への実質投資割合は、取得時において、当ファンドの純資産総額の60%以内とします。 ・同一企業が発行する社債への実質投資割合は、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。
	マザーファンド	・社債への投資割合は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の60%以内とします。 ・同一企業が発行する社債への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。
分配方針	毎月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、安定した分配を継続することをめざします。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。また、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。）	

運用報告書（全体版）

国際インド債券オープン（毎月決算型）

第172期（決算日：2026年４月10日）
第173期（決算日：2026年５月11日）
第174期（決算日：2026年６月10日）
第175期（決算日：2026年７月10日）
第176期（決算日：2026年８月10日）
第177期（決算日：2026年９月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに謹んで運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

MUFG
三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目９番１号
ホームページ　https://www.am.mufg.jp/

当運用報告書に関するお問い合わせ先	
お客さま専用フリーダイヤル	０１２０－１５１０３４ （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～１月３日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。	

本資料の表記にあたって

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			（参考指数）J.P. Morgan GBI-EM Broad India		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（円換算）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
148期(2024年4月10日)	6,828	45	3.1	33,920	3.4	96.1	－	7,476
149期(2024年5月10日)	6,946	45	2.4	34,850	2.7	96.1	－	7,528
150期(2024年6月10日)	7,010	45	1.6	35,429	1.7	92.8	－	7,620
151期(2024年7月10日)	7,210	45	3.5	36,699	3.6	96.9	－	7,683
152期(2024年8月13日)	6,577	45	△8.2	33,722	△8.1	97.0	－	6,995
153期(2024年9月10日)	6,439	45	△1.4	33,225	△1.5	96.3	－	6,848
154期(2024年10月10日)	6,690	45	4.6	34,987	5.3	96.5	－	7,109
155期(2024年11月11日)	6,759	45	1.7	35,606	1.8	96.0	－	7,083
156期(2024年12月10日)	6,630	45	△1.2	35,298	△0.9	95.8	－	6,924
157期(2025年1月10日)	6,786	45	3.0	36,582	3.6	96.8	－	7,010
158期(2025年2月10日)	6,392	45	△5.1	34,686	△5.2	96.6	－	6,538
159期(2025年3月10日)	6,222	45	△2.0	34,036	△1.9	94.5	－	6,358
160期(2025年4月10日)	6,274	45	1.6	35,090	3.1	95.8	－	6,362
161期(2025年5月12日)	6,319	45	1.4	35,656	1.6	95.5	－	6,424
162期(2025年6月10日)	6,242	45	△0.5	35,565	△0.3	95.2	－	6,344
163期(2025年7月10日)	6,259	30	0.8	35,680	0.3	96.4	－	6,335
164期(2025年8月12日)	6,210	30	△0.3	35,394	△0.8	95.9	－	6,088
165期(2025年9月10日)	6,132	30	△0.8	35,010	△1.1	95.2	－	5,930
166期(2025年10月10日)	6,334	30	3.8	36,613	4.6	96.2	－	5,969
167期(2025年11月10日)	6,352	30	0.8	36,894	0.8	96.2	－	5,906
168期(2025年12月10日)	6,357	30	0.6	37,133	0.6	95.0	－	5,563
169期(2026年1月13日)	6,377	30	0.8	37,517	1.0	95.6	－	5,503
170期(2026年2月10日)	6,210	30	△2.1	36,628	△2.4	95.7	－	5,260
171期(2026年3月10日)	6,182	30	0.0	36,893	0.7	94.4	－	5,118
172期(2026年4月10日)	6,141	30	△0.2	36,899	0.0	94.8	－	5,053
173期(2026年5月11日)	5,939	30	△2.8	35,682	△3.3	94.9	－	4,794
174期(2026年6月10日)	5,973	30	1.1	36,368	1.9	93.6	－	4,669
175期(2026年7月10日)	6,070	25	2.0	37,369	2.8	95.2	－	4,584
176期(2026年8月10日)	5,921	25	△2.0	36,650	△1.9	95.4	－	4,425
177期(2026年9月10日)	5,714	25	△3.1	35,645	△2.7	95.7	－	4,212

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
(注) J.P. Morgan GBI-EM Broad India（円換算）は、J.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルピー建て、ヘッジなし）（出所：J.P.Morgan）の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱ＵＦＪアセットマネジメントが円換算したうえ当ファンドの設定日を10,000として指数化したものです。
情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したものですが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		（参考指数）J.P. Morgan GBI-EM Broad India		債券組入比率	債券先物比率
			騰落率	（円換算）	騰落率		
	（期首）	円	%		%	%	%
	2026年３月10日	6,182	－	36,893	－	94.4	－
第172期	３月末	6,045	△2.2	35,952	△2.6	94.7	－
	（期末）						
	2026年４月10日	6,171	△0.2	36,899	0.0	94.8	－
	（期首）						
	2026年４月10日	6,141	－	36,899	－	94.8	－
第173期	４月末	6,044	△1.6	36,138	△2.1	95.2	－
	（期末）						
	2026年５月11日	5,969	△2.8	35,682	△3.3	94.9	－
	（期首）						
	2026年５月11日	5,939	－	35,682	－	94.9	－
第174期	５月末	5,934	△0.1	35,808	0.4	94.5	－
	（期末）						
	2026年６月10日	6,003	1.1	36,368	1.9	93.6	－
	（期首）						
	2026年６月10日	5,973	－	36,368	－	93.6	－
第175期	６月末	6,155	3.0	37,705	3.7	94.9	－
	（期末）						
	2026年７月10日	6,095	2.0	37,369	2.8	95.2	－
	（期首）						
	2026年７月10日	6,070	－	37,369	－	95.2	－
第176期	７月末	6,000	△1.2	36,940	△1.1	94.7	－
	（期末）						
	2026年８月10日	5,946	△2.0	36,650	△1.9	95.4	－
	（期首）						
	2026年８月10日	5,921	－	36,650	－	95.4	－
第177期	８月末	5,957	0.6	36,986	0.9	95.7	－
	（期末）						
	2026年９月10日	5,739	△3.1	35,645	△2.7	95.7	－

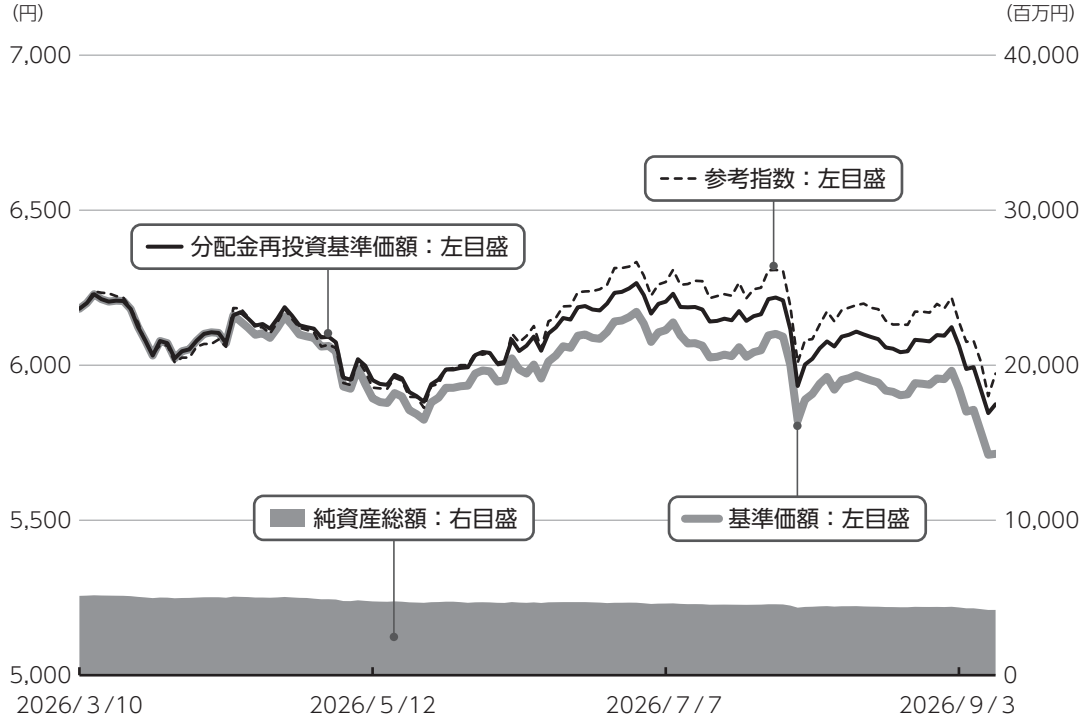
（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第172期～第177期：2026年３月11日～2026年９月10日

当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第172期首	6,182円
第177期末	5,714円
既払分配金	165円
騰　落　率	－5.0%

（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ5.0%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券利子収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

インド・ルピーが対円で下落したことや債券価格が下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第172期～第177期：2026年３月11日～2026年９月10日

投資環境について

債券市況

インド５年国債利回りは上昇しました。

期間の初めから2026年５月中旬にかけては、中東情勢緊迫化に伴うエネルギー価格の高止まりが継続する中、インド国内のガソリンや軽油などの燃料小売価格が引き上げられたことを背景に、インフレ懸念が高まったことなどから、利回りは上昇しました。５月下旬から８月中旬にかけては、６月上旬の金融政策決定会合において、インド準備銀行（ＲＢＩ）がインフレに対して警戒感を示したものの、政策金利を据え置いたことや、中東情勢の緊張緩和期待による原油価格の下落に伴うインフレ懸念の後退などから、利回りは低下しました。期間末にかけては、公開された金融政策委員会の議事要旨にて、複数のメンバーが今後利上げをする可能性を示唆していたことが明らかになったことなどから、利回りは上昇しました。結果、期間を通じてみると、インド５年国債利回りは上昇しました。

為替市況

インド・ルピーは対円で下落しました。

期間の初めから2026年５月中旬にかけては、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇を背景に、経常収支の悪化が懸念されたことなどから、インド・ルピーは対円で下落しました。５月下旬から７月中旬にかけては、インド政府が外国人投資家の国債投資における税負担軽減策を発表したことを背景に、海外からの資金流入増加が期待されたことなどから、インド・ルピーは対円で上昇しました。期間末にかけては、７月30日にドル売り・円買いの為替介入が実施されたとの観測を受けて、円高が急速に進行したことなどから、インド・ルピーは対円で下落しました。期間を通じてみると、インド・ルピーは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶国際インド債券オープン（毎月決算型）

インド債券オープン　マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。

▶インド債券オープン　マザーファンド

インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。また、社債については、インベスコ・アセット・マネジメント・プライベート・リミテッド（インド）のアドバイスを受け、運用を行いました。

※社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限りません。）が発行する社債を含みます。

インド・ルピー建債券のほか、米ドル建債券にも投資しました。また、米ドル建債券への投資にあたっては、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引（ＮＤＦ）等を行いました。

※直物為替先渡取引とは、一種の外国為替先渡取引であり、決済時に元本の受け渡しを行わずに、取引時に決定した取引レートと決済レートの差および元本により計算した額を、米ドル等に換算して、受け渡しを行う取引です。

インドの外国人投資家に対する投資枠を利用して、利回りが相対的に高いインド・ルピー建債券を積極的に組み入れています。

外貨建資産について、対円での為替ヘッジは行いませんでした。

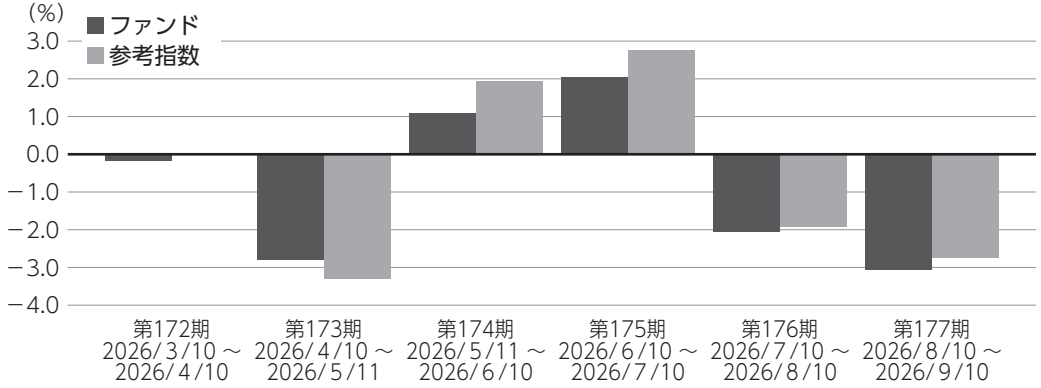
デュレーションについては、期間の初めは5.0程度とし、期間末においては5.4程度としました。

※デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

第172期～第177期：2026/3/11～2026/9/10

当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
参考指数はJ.P. Morgan GBI-EM Broad India（円換算）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　目	第172期 2026年3月11日～ 2026年4月10日	第173期 2026年4月11日～ 2026年5月11日	第174期 2026年5月12日～ 2026年6月10日	第175期 2026年6月11日～ 2026年7月10日	第176期 2026年7月11日～ 2026年8月10日	第177期 2026年8月11日～ 2026年9月10日
当期分配金 （対基準価額比率）	**30** (0.486%)	**30** (0.503%)	**30** (0.500%)	**25** (0.410%)	**25** (0.420%)	**25** (0.436%)
当期の収益	21	19	26	25	22	23
当期の収益以外	8	10	3	－	2	1
翌期繰越分配対象額	1,620	1,609	1,606	1,612	1,610	1,609

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ **国際インド債券オープン（毎月決算型）**

引き続き、インド債券オープン　マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。

▶ **インド債券オープン　マザーファンド**

引き続き、インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象として運用を行い、これらの債券を高位に保ちます。

インドの外国人投資家に対する投資枠を活用した運用を継続します。

インド・ルピー建以外の債券に投資した場合には、原則として、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引（ＮＤＦ）等を行います。

外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

2026年３月11日～2026年９月10日

１万口当たりの費用明細

項目	第172期～第177期 金額（円）	第172期～第177期 比率（%）	項目の概要
(a)信託報酬	50	0.832	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(25)	(0.422)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(23)	(0.388)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	3	0.050	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.045)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	53	0.882	

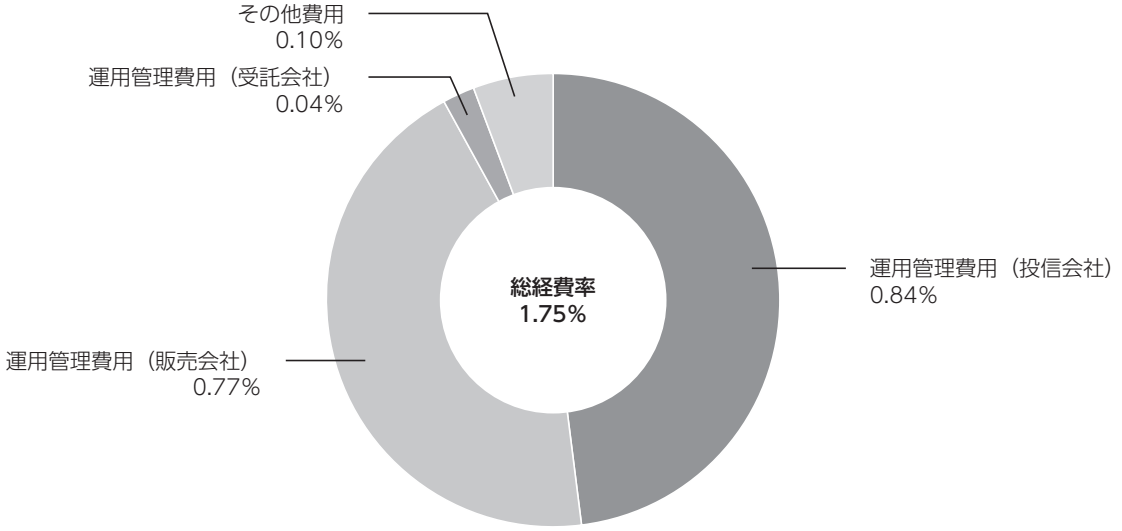
作成期中の平均基準価額は、6,016円です。

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.75%**です。



（注）費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2026年３月11日～2026年９月10日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第172期～第177期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
インド債券オープン　マザーファンド	6,185	18,365	245,837	728,348

○利害関係人との取引状況等

（2026年３月11日～2026年９月10日）

利害関係人との取引状況

＜国際インド債券オープン（毎月決算型）＞

該当事項はございません。

＜インド債券オープン　マザーファンド＞

区分	第172期～第177期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	3,962	－	－	6,466	557	8.6

平均保有割合　23.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱ＵＦＪ銀行、三菱ＵＦＪ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFG証券です。

○組入資産の明細

（2026年９月10日現在）

親投資信託残高

銘柄	第171期末	第177期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
インド債券オープン　マザーファンド	1,698,605	1,458,953	4,199,453

○投資信託財産の構成

（2026年９月10日現在）

項目	第177期末	
	評価額	比率
	千円	%
インド債券オープン　マザーファンド	4,199,453	99.1
コール・ローン等、その他	38,521	0.9
投資信託財産総額	4,237,974	100.0

（注）インド債券オープン　マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（17,741,973千円）の投資信託財産総額（17,981,326千円）に対する比率は98.7%です。

（注）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

１アメリカドル＝153.73円	１インドルピー＝1.63円		

○特定資産の価格等の調査

（2026年３月11日～2026年９月10日）

＜インド債券オープン　マザーファンド＞

特定資産の種類	件数
直物為替先渡取引	20

当作成期に、国際インド債券オープン（毎月決算型）の主要投資対象であるインド債券オープン　マザーファンドにおいて行った取引のうち、「投資信託及び投資法人に関する法律」第11条に基づき価格等の調査が必要とされた資産の取引については、PwC Japan有限責任監査法人へその調査を委託し、調査報告書を受領しました。当該取引については、取引相手方の名称、通貨の種類、売買別、想定元本、満期日、その他当該取引の内容に関することについて調査を依頼しました。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項　　目	第172期末	第173期末	第174期末	第175期末	第176期末	第177期末
	2026年４月10日現在	2026年５月11日現在	2026年６月10日現在	2026年７月10日現在	2026年８月10日現在	2026年９月10日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	5,091,950,283	4,828,954,434	4,710,424,790	4,609,478,087	4,453,349,109	4,237,974,435
コール・ローン等	48,668,806	49,051,523	44,959,790	38,742,958	37,784,433	37,401,627
ｲﾝﾄﾞ債券ｵｰﾌﾟﾝ　ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ(評価額)	5,038,681,711	4,779,723,998	4,655,531,796	4,570,298,167	4,412,484,685	4,199,453,075
未収入金	4,598,806	177,946	9,932,318	435,933	3,078,987	1,118,740
未収利息	960	967	886	1,029	1,004	993
(B) 負債	38,132,837	34,797,514	40,923,677	25,426,283	27,550,593	25,947,303
未払収益分配金	24,688,016	24,217,576	23,454,306	18,879,259	18,687,582	18,427,436
未払解約金	6,336,525	3,659,351	11,062,064	199,253	2,507,709	1,351,606
未払信託報酬	7,089,403	6,902,190	6,390,278	6,330,901	6,338,410	6,151,866
その他未払費用	18,893	18,397	17,029	16,870	16,892	16,395
(C) 純資産総額（Ａ－Ｂ）	5,053,817,446	4,794,156,920	4,669,501,113	4,584,051,804	4,425,798,516	4,212,027,132
元本	8,229,338,742	8,072,525,356	7,818,102,176	7,551,703,901	7,475,033,100	7,370,974,798
次期繰越損益金	△3,175,521,296	△3,278,368,436	△3,148,601,063	△2,967,652,097	△3,049,234,584	△3,158,947,666
(D) 受益権総口数	8,229,338,742口	8,072,525,356口	7,818,102,176口	7,551,703,901口	7,475,033,100口	7,370,974,798口
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	6,141円	5,939円	5,973円	6,070円	5,921円	5,714円

○損益の状況

項　　目	第172期 2026年３月11日～ 2026年４月10日	第173期 2026年４月11日～ 2026年５月11日	第174期 2026年５月12日～ 2026年６月10日	第175期 2026年６月11日～ 2026年７月10日	第176期 2026年７月11日～ 2026年８月10日	第177期 2026年８月11日～ 2026年９月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	12,429	13,463	11,460	13,874	15,815	14,744
受取利息	12,429	13,463	11,460	13,874	15,815	14,744
(B) 有価証券売買損益	△ 1,956,433	△ 132,229,484	55,946,334	98,382,885	△ 86,724,579	△ 127,722,867
売買益	345,925	963,136	57,077,969	101,569,791	499,454	267,904
売買損	△ 2,302,358	△ 133,192,620	△ 1,131,635	△ 3,186,906	△ 87,224,033	△ 127,990,771
(C) 信託報酬等	△ 7,108,296	△ 6,920,587	△ 6,407,307	△ 6,347,771	△ 6,355,302	△ 6,168,261
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 9,052,300	△ 139,136,608	49,550,487	92,048,988	△ 93,064,066	△ 133,876,384
(E) 前期繰越損益金	△ 454,360,292	△ 476,360,201	△ 616,435,629	△ 567,993,410	△ 488,457,529	△ 590,055,188
(F) 追加信託差損益金	△2,687,420,688	△2,638,654,051	△2,558,261,615	△2,472,828,416	△2,449,025,407	△2,416,588,658
（配当等相当額）	(1,215,050,999)	(1,192,468,268)	(1,155,378,284)	(1,116,396,827)	(1,105,350,205)	(1,090,258,418)
（売買損益相当額）	(△3,902,471,687)	(△3,831,122,319)	(△3,713,639,899)	(△3,589,225,243)	(△3,554,375,612)	(△3,506,847,076)
(G) 計（D＋E＋F）	△3,150,833,280	△3,254,150,860	△3,125,146,757	△2,948,772,838	△3,030,547,002	△3,140,520,230
(H) 収益分配金	△ 24,688,016	△ 24,217,576	△ 23,454,306	△ 18,879,259	△ 18,687,582	△ 18,427,436
次期繰越損益金（G＋H）	△3,175,521,296	△3,278,368,436	△3,148,601,063	△2,967,652,097	△3,049,234,584	△3,158,947,666
追加信託差損益金	△2,687,420,688	△2,638,654,051	△2,558,261,615	△2,472,828,416	△2,449,025,407	△2,416,588,658
（配当等相当額）	(1,215,113,822)	(1,192,517,545)	(1,155,434,839)	(1,116,442,054)	(1,105,380,194)	(1,090,294,808)
（売買損益相当額）	(△3,902,534,510)	(△3,831,171,596)	(△3,713,696,454)	(△3,589,270,470)	(△3,554,405,601)	(△3,506,883,466)
分配準備積立金	118,240,166	107,004,846	100,630,041	101,640,663	98,298,998	95,859,212
繰越損益金	△ 606,340,774	△ 746,719,231	△ 690,969,489	△ 596,464,344	△ 698,508,175	△ 838,218,220

（注）(B)**有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。
（注）(C)**信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注）(F)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

＜注記事項＞
①作成期首（前作成期末）元本額　8,279,135,877円
　作成期中追加設定元本額　169,497,093円
　作成期中一部解約元本額　1,077,658,172円
　また、１口当たり純資産額は、作成期末0.5714円です。
②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,158,947,666円です。
③分配金の計算過程

項　　目	2026年３月11日～ 2026年４月10日	2026年４月11日～ 2026年５月11日	2026年５月12日～ 2026年６月10日	2026年６月11日～ 2026年７月10日	2026年７月11日～ 2026年８月10日	2026年８月11日～ 2026年９月10日
費用控除後の配当等収益額	17,933,889円	15,405,479円	20,436,728円	23,371,144円	16,460,805円	17,446,395円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	1,215,113,822円	1,192,517,545円	1,155,434,839円	1,116,442,054円	1,105,380,194円	1,090,294,808円
分配準備積立金額	124,994,293円	115,816,943円	103,647,619円	97,148,778円	100,525,775円	96,840,253円
当ファンドの分配対象収益額	1,358,042,004円	1,323,739,967円	1,279,519,186円	1,236,961,976円	1,222,366,774円	1,204,581,456円
１万口当たり収益分配対象額	1,650円	1,639円	1,636円	1,637円	1,635円	1,634円
１万口当たり分配金額	30円	30円	30円	25円	25円	25円
収益分配金金額	24,688,016円	24,217,576円	23,454,306円	18,879,259円	18,687,582円	18,427,436円

○分配金のお知らせ

	第172期	第173期	第174期	第175期	第176期	第177期
１万口当たり分配金（税込み）	30円	30円	30円	25円	25円	25円

・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

＊三菱ＵＦＪアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（https://www.am.mufg.jp/）をご覧ください。

［お知らせ］

投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に記載変更を行いました。

一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年４月１日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

（2026年４月１日）

インド債券オープン　マザーファンド

《第30期》決算日2026年８月10日

［計算期間：2026年２月11日～2026年８月10日］

「インド債券オープン　マザーファンド」は、８月10日に第30期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第30期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。インド・ルピー建以外の債券に投資した場合には、原則として、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引（ＮＤＦ）等を行います。
主要運用対象	インドの公社債*、および国際機関債 ＊社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限りません。）が発行する社債を含みます。
主な組入制限	・社債への投資割合は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の60%以内とします。 ・同一企業が発行する社債への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		（参考指数）J.P. Morgan GBI-EM Broad India		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率	（円換算）	期中騰落率			
	円	%		%	%	%	百万円
26期(2024年８月13日)	27,816	1.8	29,662	2.0	97.3	－	26,834
27期(2025年２月10日)	28,389	2.1	30,509	2.9	96.9	－	25,481
28期(2025年８月12日)	28,896	1.8	31,132	2.0	96.1	－	24,129
29期(2026年２月10日)	29,991	3.8	32,218	3.5	96.0	－	21,701
30期(2026年８月10日)	29,657	△1.1	32,237	0.1	95.7	－	18,776

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
(注) J.P. Morgan GBI-EM Broad India（円換算）は、J.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルピー建て、ヘッジなし）（出所：J.P.Morgan）の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱ＵＦＪアセットマネジメントが円換算したうえ当ファンドの設定日を10,000として指数化したものです。
情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したものですが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		（参考指数）J.P. Morgan GBI-EM Broad India		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率	（円換算）	騰落率		
（期首）	円	%		%	%	%
2026年２月10日	29,991	－	32,218	－	96.0	－
２月末	30,180	0.6	32,509	0.9	94.6	－
３月末	29,400	△2.0	31,623	△1.8	95.0	－
４月末	29,580	△1.4	31,787	△1.3	95.5	－
５月末	29,231	△2.5	31,496	△2.2	94.8	－
６月末	30,521	1.8	33,165	2.9	95.2	－
７月末	29,914	△0.3	32,492	0.9	95.0	－
（期末）						
2026年８月10日	29,657	△1.1	32,237	0.1	95.7	－

（注）騰落率は期首比。
（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

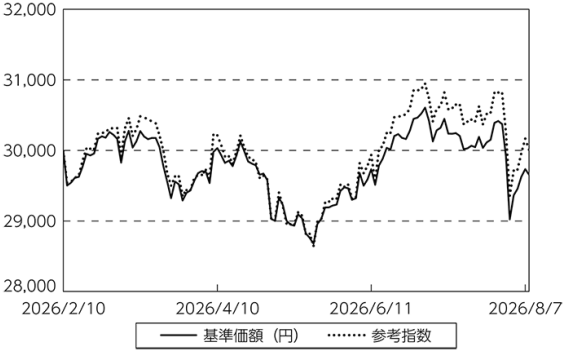
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ1.1%の下落となりました。

基準価額等の推移



（注）参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

（上昇要因）

・債券利子収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

（下落要因）

・インド・ルピーが対円で下落したことや債券価格が下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

・インド５年国債利回りはおおむね横ばいとなりました。

・期間の初めから2026年５月中旬にかけては、中東情勢緊迫化に伴うエネルギー価格の高止まりが継続する中、インド国内のガソリンや軽油などの燃料小売価格が引き上げられたことを背景に、インフレ懸念が高まったことなどから、利回りは上昇しました。５月下旬以降は、６月上旬の金融政策決定会合において、インド準備銀行（ＲＢＩ）がインフレに対して警戒感を示したものの、政策金利を据え置いたことや、中東

情勢の緊張緩和期待による原油価格の下落に伴うインフレ懸念の後退などから、利回りは低下しました。期間を通じてみると、インド５年国債利回りはおおむね横ばいとなりました。

◎為替市況

・インド・ルピーは対円で下落しました。
・期間の初めから2026年５月中旬にかけては、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇を背景に、経常収支の悪化が懸念されたことなどから、インド・ルピーは対円で下落しました。５月下旬から７月中旬にかけては、インド政府が外国人投資家の国債投資における税負担軽減策を発表したことを背景に、海外からの資金流入増加が期待されたことなどから、インド・ルピーは対円で上昇しました。期間末にかけては、７月30日にドル売り・円買いの為替介入が実施されたとの観測を受けて、円高が急速に進行したことなどから、インド・ルピーは対円で下落しました。期間を通じてみると、インド・ルピーは対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。また、社債については、インベスコ・アセット・マネジメント・プライベート・リミテッド（インド）のアドバイスを受け、運用を行いました。
※社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限りません。）が発行する社債を含みます。
・インド・ルピー建債券のほか、米ドル建債券にも投資しました。また、米ドル建債券への投資にあたっては、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引（ＮＤＦ）等を行いました。
※直物為替先渡取引とは、一種の外国為替先渡取引であり、決済時に元本の受け渡しを行わずに、取引時に決定した取引レートと決済レートの差および元本により計算した額を、米ドル等に換算して、受け渡しを行う取引です。
・インドの外国人投資家に対する投資枠を利用して、利回りが相対的に高いインド・ルピー建債券を積極的に組み入れています。
・外貨建資産について、対円での為替ヘッジは行いませんでした。
・デュレーションについては、期間の初めは5.1程度とし、期間末においては5.4程度としました。
※デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

○今後の運用方針

・引き続き、インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象として運用を行い、これらの債券を高位に保ちます。
・インドの外国人投資家に対する投資枠を活用した運用を継続します。
・インド・ルピー建以外の債券に投資した場合には、原則として、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引（ＮＤＦ）等を行います。
・外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

○１万口当たりの費用明細

（2026年２月11日～2026年８月10日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) その他費用	14	0.046	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(14)	(0.046)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	14	0.046	
期中の平均基準価額は、29,784円です。			

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2026年２月11日～2026年８月10日）

公社債

			買付額	売付額
			千アメリカドル	千アメリカドル
外国	アメリカ	特殊債券	785	1,336
		社債券	3,261	2,895
			千インドルピー	千インドルピー
	インド	国債証券	343,895	291,460
		特殊債券	223,508	601,834
		社債券	－	750,816 (250,000)

（注）金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）
（注）（ ）内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
（注）社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。
（注）社債券には政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券が含まれております。

スワップ及び先渡取引状況

種類	取引契約金額
	百万円
直物為替先渡取引	13,713

○利害関係人との取引状況等

（2026年２月11日～2026年８月10日）

利害関係人との取引状況

区　　分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	3,519	－	－	6,116	746	12.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱ＵＦＪ銀行、三菱ＵＦＪ信託銀行、モルガン・スタンレーＭＵＦＧ証券です。

○組入資産の明細

（2026年８月10日現在）

外国公社債

（Ａ）外国（外貨建）公社債　種類別開示

区　　分	当　　期　　末							
	額面金額	評　価　額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			５年以上	２年以上	２年未満
	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	45,150	42,770	6,756,911	36.0	3.3	13.7	20.5	1.8
	千インドルピー	千インドルピー						
インド	6,548,300	6,711,992	11,209,027	59.7	12.9	32.5	20.0	7.2
合　　計	－	－	17,965,939	95.7	16.2	46.2	40.4	9.0

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債　銘柄別開示

銘柄			当期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	特殊債券	3.249 IND RAIL F 300213	3.249	2,300	2,161	341,476	2030/2/13
		3.57 IND RAIL F 320121	3.57	200	185	29,276	2032/1/21
		4.896 CANARA BANK 290911	4.896	600	597	94,431	2029/9/11
		5 EX-IM BK IND 360112	5.0	1,000	965	152,457	2036/1/12
		5.5 EX-IM BK IND 330118	5.5	4,500	4,547	718,402	2033/1/18
		5.5 EX-IM BK IND 350113	5.5	4,900	4,913	776,230	2035/1/13
	社債券	2.8 ULTRATECH CEM 310216	2.8	1,800	1,629	257,400	2031/2/16
		2.875 RELIANCE IN 320112	2.875	3,600	3,225	509,508	2032/1/12
		3.25 BHARTI AIR 310603	3.25	6,000	5,558	878,140	2031/6/3
		3.35 POWER FIN 310516	3.35	6,300	5,795	915,601	2031/5/16
		3.375 ONGC VIDES 291205	3.375	1,200	1,143	180,676	2029/12/5
		3.625 RELIANCE IN 520112	3.625	2,250	1,549	244,861	2052/1/12
		3.9 POWER FIN 290916	3.9	600	580	91,695	2029/9/16
		3.95 POWER FIN 300423	3.95	600	574	90,735	2030/4/23
		4.375 ADANI PORTS 290703	4.375	400	388	61,355	2029/7/3
		4.5 STATE IND/L 300909	4.5	600	586	92,657	2030/9/9
		5.067 HDFC BANK/G 310624	5.067	400	397	62,729	2031/6/24
		5.125 STATE IND/L 291125	5.125	2,300	2,313	365,473	2029/11/25
		5.332 TATA CAPITA 300121	5.332	200	200	31,702	2030/1/21
		5.348 AXIS BANK/ 310630	5.348	800	801	126,542	2031/6/30
		5.459 ICICI BANK 310730	5.459	200	201	31,835	2031/7/30
		6.25 RELIANCE IN 401019	6.25	500	529	83,591	2040/10/19
		6.375 MUTHOOT FIN 290423	6.375	1,400	1,399	221,163	2029/4/23
		7.125 MUTHOOT FIN 280214	7.125	2,100	2,123	335,424	2028/2/14
		FRN AXIS BANK/ 741230	6.875	400	402	63,536	2174/12/30
小計						6,756,911	
インド				千インドルピー	千インドルピー		
	国債証券	7.16 INDIA GOVT 500920	7.16	100,000	98,237	164,056	2050/9/20
		7.19 INDIA GOVT 600915	7.19	50,000	48,174	80,450	2060/9/15
		7.24 INDIA GOVT 550818	7.24	350,000	345,550	577,069	2055/8/18
		7.3 INDIA GOVT 530619	7.3	350,000	345,062	576,255	2053/6/19
		7.46 INDIA GOVT 731106	7.46	450,000	444,638	742,546	2073/11/6
		8.13 INDIA GOVT 450622	8.13	200,000	217,364	362,997	2045/6/22
		8.17 INDIA GOVT 441201	8.17	500,000	546,394	912,479	2044/12/1
		9.23 INDIA GOVT 431223	9.23	500,000	599,124	1,000,538	2043/12/23
	特殊債券	6.25 EBRD 280411	6.25	2,800	2,746	4,586	2028/4/11
		6.3 EBRD 271026	6.3	9,200	9,070	15,147	2027/10/26
		6.75 EBRD 310314	6.75	225,500	218,196	364,388	2031/3/14
		6.75 IBRD 290713	6.75	10,000	9,813	16,388	2029/7/13
		6.875 EBRD 310730	6.875	20,000	19,455	32,489	2031/7/30
		6.89 IBRD 300206	6.89	6,500	6,361	10,624	2030/2/6
		6.95 EIB 290301	6.95	93,300	92,156	153,900	2029/3/1
		7 IADB 290125	7.0	130,000	128,448	214,509	2029/1/25
		7 IBRD 310125	7.0	33,000	32,188	53,755	2031/1/25

銘柄			当期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
インド			%	千インドルピー	千インドルピー	千円	
	特殊債券	7.2 NABARD 311021	7.2	250,000	249,188	416,144	2031/10/21
		7.35 IADB 301006	7.35	318,000	317,894	530,884	2030/10/6
		7.38 NABARD 311020	7.38	100,000	99,853	166,755	2031/10/20
		7.42 SMALL IND DE 290312	7.42	50,000	50,095	83,658	2029/3/12
		7.49 SMALL IND DE 290611	7.49	50,000	50,205	83,842	2029/6/11
		7.55 IND RAIL F 291106	7.55	150,000	151,926	253,717	2029/11/6
		7.68 NABARD 290430	7.68	100,000	100,783	168,308	2029/4/30
		7.69 NABARD 320331	7.69	200,000	202,409	338,023	2032/3/31
		7.74 EX-IM BK IND 370526	7.74	200,000	205,400	343,018	2037/5/26
		8.11 EX-IM BK IND 310711	8.11	200,000	208,170	347,644	2031/7/11
		8.75 IND RAIL F 261129	8.75	100,000	100,628	168,049	2026/11/29
		8.8 FOOD INDIA 280322	8.8	50,000	51,137	85,399	2028/3/22
		8.87 EX-IM BK IND 291030	8.87	50,000	52,574	87,799	2029/10/30
	社債券	7.18 SUNDARAM FIN 280516	7.18	50,000	49,589	82,815	2028/5/16
		7.38 BAJAJ FINANC 300628	7.38	100,000	98,488	164,476	2030/6/28
		7.38 CHOLAMANDALA 270528	7.38	50,000	49,841	83,235	2027/5/28
		7.47 ICICI BANK 270625	7.47	100,000	100,173	167,290	2027/6/25
		7.54 RURAL ELEC 261230	7.54	50,000	50,069	83,615	2026/12/30
		7.55 POWER GRID 310921	7.55	50,000	50,704	84,676	2031/9/21
		7.6 BAJAJ FINANCE 300211	7.6	50,000	49,620	82,866	2030/2/11
		7.645 LIC HOUSIN 300221	7.645	150,000	150,165	250,776	2030/2/21
		7.75 LIC HOUSIN 290823	7.75	100,000	100,694	168,158	2029/8/23
		7.8 HDFC BANK LTD 330503	7.8	100,000	100,596	167,996	2033/5/3
		7.89 TATA CAPITAL 270726	7.89	100,000	100,315	167,526	2027/7/26
		7.9 HOUSING DE 260824	7.9	100,000	100,042	167,071	2026/8/24
		7.9 RELIANCE P 261118	7.9	100,000	100,135	167,226	2026/11/18
		7.95 HDFC BANK LT 260921	7.95	100,000	100,113	167,189	2026/9/21
		7.97 HDFC BANK LT 330217	7.97	100,000	101,416	169,366	2033/2/17
		8 LARSEN & TOUBRO 300423	8.0	50,000	51,111	85,355	2030/4/23
		8.06 BAJAJ FINANC 290515	8.06	50,000	50,370	84,118	2029/5/15
		8.2 POWER GRID 300123	8.2	50,000	51,701	86,341	2030/1/23
		8.4 CHOLAMANDALAM 280809	8.4	200,000	201,407	336,350	2028/8/9
		8.4 POWER GRID 300527	8.4	50,000	52,182	87,145	2030/5/27
小計						11,209,027	
合計						17,965,939	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 社債券には政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券が含まれております。

スワップ及び先渡取引残高

種　　類	取引契約残高
	当期末想定元本額
	百万円
直物為替先渡取引	6,460

○投資信託財産の構成

（2026年８月10日現在）

項　　目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	17,965,939	94.9
コール・ローン等、その他	968,991	5.1
投資信託財産総額	18,934,930	100.0

（注）期末における外貨建純資産（18,510,156千円）の投資信託財産総額（18,934,930千円）に対する比率は97.8%です。

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

１アメリカドル＝157.98円	１インドルピー＝1.67円		

○特定資産の価格等の調査

（2026年２月11日～2026年８月10日）

特定資産の種類	件数
直物為替先渡取引	15

当期に、当ファンドにおいて行った取引のうち、「投資信託及び投資法人に関する法律」第11条に基づき価格等の調査が必要とされた資産の取引については、PwC Japan有限責任監査法人へその調査を委託し、調査報告書を受領しました。当該取引については、取引相手方の名称、通貨の種類、売買別、想定元本、満期日、その他当該取引の内容に関することについて調査を依頼しました。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年８月10日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	18,968,077,254
コール・ローン等	481,508,274
公社債(評価額)	17,965,939,269
未収入金	158,787,375
未収利息	334,422,920
前払費用	27,419,416
(B) 負債	191,228,907
未払金	162,474,477
未払解約金	28,754,430
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	18,776,848,347
元本	6,331,274,500
次期繰越損益金	12,445,573,847
(D) 受益権総口数	6,331,274,500口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	29,657円

＜注記事項＞

①期首元本額　7,236,059,021円
　期中追加設定元本額　21,200,710円
　期中一部解約元本額　925,985,231円
　また、１口当たり純資産額は、期末2.9657円です。

○損益の状況 (2026年２月11日～2026年８月10日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	586,716,543
受取利息	582,690,320
その他収益金	4,026,223
(B) 有価証券売買損益	△ 610,513,019
売買益	76,962,774
売買損	△ 687,475,793
(C) 先物取引等取引損益	△ 202,824,715
取引益	45,540,937
取引損	△ 248,365,652
(D) 保管費用等	△ 9,237,042
(E) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ)	△ 235,858,233
(F) 前期繰越損益金	14,465,321,580
(G) 追加信託差損益金	41,995,557
(H) 解約差損益金	△ 1,825,885,057
(I) 計(Ｅ＋Ｆ＋Ｇ＋Ｈ)	12,445,573,847
次期繰越損益金(Ｉ)	12,445,573,847

(注) **(B)有価証券売買損益**および**(C)先物取引等取引損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) **(G)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) **(H)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

インド債券オープン（毎月決算型）	3,695,048,751円
国際インド債券オープン（毎月決算型）	1,487,839,190円
インド債券オープン（年１回決算型）	1,148,386,559円
合計	6,331,274,500円

［お 知 ら せ］

投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に記載変更を行いました。

一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年４月１日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(2026年４月１日)